

22年度年末手当妥結！！

基準内賃金×

1.62カ月！！

「今までの苦勞とはなんだ！！」

5日間に渡る常駐お疲れ様でした！

青年部は、集会に青年部員を結集し、各種行動を展開し本部の交渉を現場から支えてきました。しかし、私たちの要求には程遠く、夏季手当の0.1カ月を下回る低額回答となりました。会社は、収入実績を2020年の成績と勝手に比較し、社員の意見を無視してきたのは間違いありません。またしても経常利益の赤字の責任を会社経営陣は自分たちの責任として汗をかくことをせず、社員の人件費削減だけで計画達成を目指し、社員に「我慢」を強いることしかできない犬飼新社長率いる経営陣の姿勢を、春闘では何としてでも崩さなければなりません。年末手当獲得に向け、大変ご苦勞様でした。